
仮面ライダー真

剣崎 京

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー真

【Nコード】

N4664I

【作者名】

剣崎 京

【あらすじ】

主人公、風祭真^{かざまつり・しん}は、ある日謎の組織、ノイエ・シヨッカーによって、改造手術を施されバツタの能力を持った超人になってしまった。突然手にした能力に戸惑いながらも、大切な人を守る為、仮面ライダーとして戦うことを決意する！

Beginning (前書き)

この作品は、石ノ森章太郎先生原作の『仮面ライダー』を大原作とした二次創作です。

イメージとしては、『仮面ライダー THE First』に近いと思います。

風祭真という名前は、仮面ライダー真の主人公と同姓同名ですが別人です。

何分、初心者ですので、イメージを借りました。
宜しく願います。

Beginning

第1話 『Beginning』

朝、風祭 真(23)は、爽やかな小鳥たちの囀りと、妹の友佳子(18)の声で目を覚ました。

「おにい！いい加減に起きなよ！いくら働いてないからって、寝坊助はよくないよ！」

友佳子は、真のベッドから、掛け布団をひっぺ返した。

「う、うん……」

「まったく、これじゃ、どっちが上だが、分からないよねえ？」

「ごめん……、友佳子……」

「なんで、謝るの？ハア……。おにい、なんで、そんなに自信無くしちゃったの？昔は、結構、男らしかったじゃん？」

「……」

「まあ、いいわ。朝食用意出来てるから、ちゃんと食べるのよ？私もう学校行くからね？」

「分かったよ……。ちゃんと食べる。気をつけてな？」

「はいはい、おにい、お父さんが残してくれた、遺産があるから、生活には困らないけど、もう少し、シャキツとしてよね？おにいには、

やればできる人なんだから！」

友佳子は、真の頭をヨシヨシと軽く撫でて、

「行つてきます！」

と言って真の部屋を出た。ボタン、と玄関のドアの閉まる音がして、友佳子は学校へ出掛けたようだった。

真は、またベッドに潜ってしまった。

考えても仕方のないことだっというのは、充分承知している。

だから、何も考えなくていいように眠ってしまいたい。

だが眠るとまた悪夢にうなされてしまう。

それも怖い。だから、眠れない。

その堂々めぐりで、気がついたら朝になり、ウトウトし始めた頃にいつも友佳子に起こされてしまう。

真の人生は、ある日の出来事を境にガラリと変わってしまった。

まったく信じ難い事だが、今の真は見た目は常人と変わらずとも、その中身は常人のそれとは違う。

自分が望む望まないの選択肢はなかった。

突然現れた、ノイエ・シヨッカーと名乗る謎の男たちに拉致され、

目が覚めた時は既に体はサイボーグ化されていた。

気づいた時には、薄暗い手術室のベッドに拘束されていた。

真っ白な目だし帽の男が言っていた。

「後は脳改造を施せばオペは終了だ」

その時、手術室が停電騒ぎに見舞われた、

その騒ぎに乗じて、真は脱出を試みた。

自分では軽く力を入れただけのつもりだったが、

サイボーグ化された真の身体は拘束具を軽く引きちぎり、

取り押さえようとする男たちを力まかせに振り払った。

拳に目一杯の力を入れて、鋼鉄製の扉を殴りつけて、破壊し、手術室を後にした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4664i/>

仮面ライダー真

2010年10月9日23時35分発行